

Vol.115

令和5年

春号

HYOGO
NURSING
ASSOCIATION

看護

ひょうご



作品名：世界遺産、悠久の歴史を刻む姫路城の桜 所属：兵庫県立はりま姫路総合医療センター 氏名：永良 直子

CONTENTS

- 2 定時総会プログラム／保健師助産師看護師合同職能集会プログラム
- 6 特別企画座談会 vol.2 「男性看護師の育児休業 ～働きやすい職場～」
- 8 教育認定部だより／ライブラリーニュース
- 10 ナースセンターだより
- 12 支部活動報告
- 14 事業部
- 15 施設代表者報告／看護協会の動き・理事会報告
- 16 Voice of Hyogo Nurses／各種募集／編集後記

会員数

32,032名 (令和5年3月末現在)

保健師	—	657名	看護師	—	29,628名
助産師	—	1,054名	准看護師	—	693名

会員募集!

会員特典が充実しました
ぜひご利用ください。

特典利用可能施設は、
こちらのQRコードからご確認ください▶



公益 社団法人 HYOGO NURSING ASSOCIATION
兵庫県看護協会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-6-24
TEL:078-341-0190



兵庫県看護協会

検索

<https://www.hna.or.jp>

〔発行〕公益社団法人兵庫県看護協会

〔発行責任者〕会長 成田康子

〔発行日〕令和5年4月15日

令和5年度 公益社団法人兵庫県看護協会 定時総会・職能集会の開催について

令和5年度の本会の定時総会と職能集会は、本会会館(ハーモニーホール、研修室等)で開催します。ご参加いただける人数に制約が生じることから、総会は一般会員の皆様にはオンラインで参加いただけるようにします。多くの会員のご参加をお願いします。

具体的な参加申込方法等は、4月の定例発送でお知らせするとともに、本会ホームページに掲載します。なお、参加申込につきましては、本会研修サイトmanaableをご利用ください。

令和5年度 定時総会プログラム

日時	令和5年 6月15日(木) 13:30~16:00(開場13:00~)	場所	兵庫県看護協会会館2階 ハーモニーホール(オンライン併用)
13:30	開 会 物故者への黙祷 / 会長あいさつ / 来賓祝辞 / 表彰贈呈【兵庫県看護協会会長表彰 等】 議決事項及び報告事項 第1号議案 令和5年度兵庫県看護協会改選役員 ^{選 挙} の選出について(案) 第2号議案 推薦委員の選出について(案) 第3号議案 選挙管理委員の選出について(案) 第4号議案 2024(令和6)年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について(案) 報告事項1 令和4年度重点方策及び重点事業報告 第5号議案 令和4年度決算報告(案)及び監査報告 報告事項2 令和5年度重点方策及び重点事業 報告事項3 令和5年度収支予算 選挙結果発表 表彰等受賞者紹介【叙勲、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰 等】 退任役員紹介 新役員紹介		
16:00	閉 会		

● 定時総会の留意事項

会場参加者は代議員に限定します。代議員の「書面による議決権行使」を実施しますが、可能な限り会場でのご参加をお願いします。

保健師助産師看護師合同職能集会プログラム

日時	令和5年 6月15日(木) 9:30~12:00(開場9:00~)	場所	兵庫県看護協会会館3階 研修室3(オンライン併用)
9:30	開 会 委員長あいさつ 職能委員会令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画(各10分) ●保健師職能委員長 ●助産師職能委員長 ●看護師職能I委員長 ●看護師職能II委員長		
10:30	特別講演 テーマ:「折れない心を作る組織環境 ~働きやすく・活気のある職場環境~」 講 師: You Tuber Nバク氏 コロナ禍での様々な対応や、職場の人間関係をはじめとする環境の問題など、疲弊している看護職が多い中、離職が増え、職場環境がさらに悪化するなど悪循環になっています。それぞれの看護職が生き生きと働き続ける職場づくりにつなげていきましょう。		
12:00	閉 会		

● 職能集会の留意事項

可能な限り会場でのご参加をお願いします。ただし、定員になり次第オンラインでのご参加をお願いする場合があります。

申込み
方法

定時総会・職能集会の申込みは、本会研修サイトmanaableよりお願いします。マナブル利用には、利用者登録が必要です。

兵庫県 マナブル

検索

<https://hna.manaable.com/>



第1号議案

令和5年度兵庫県看護協会改選役員の選出について(案)

理事候補 <任期2年>〔推薦委員会推薦〕(改選10 候補者10)

(所属は令和5年4月1日現在)

区分	氏名	職種	所属	抱負
会長	まるやま みつこ 丸山 美津子	看	個人会員	コロナ禍で遅しく成長し続ける看護職の皆さまの英知を集結し、未来に向けた看護提供体制を熟考し、進めていきたいと思っております。
第二副会長	おおの かおり 大野 かおり	保	兵庫県立大学	兵庫県看護協会が掲げる重点事業推進に努めるとともに、実践と教育の現場を有機的につなぎ、看護の質向上のために尽力します。
常務	きたの てい 北野 貞	看	兵庫県看護協会	2040年を見据え、あらゆる場で働く看護職が専門職として生き生きと働き続け、キャリアアップできるよう努力してまいります。
保健師職能	たなか ともみ 田中 友巳	保	伊丹健康福祉事務所	コロナ禍の活動を振り返り、保健師の強みや専門性を十分に発揮し、他職種との連携に取り組んでまいります。
看護師職能II	おだ さとみ 於田 里実	看	聖隷訪問看護ステーション淡路	地域で暮らす方々の健康で安全な生活を支える為、多職種との連携を強化し、効果的な看護が提供できるよう実践力強化を図ります。
准看護師	よねとみ 米富 サオリ	准	順心病院	看護の役割は拡大し、専門性も強く求められています。その中で働く私達准看護師も役割の一端が担えるよう努力してまいります。
神戸東部地区	おおにし みき 大西 美樹	看	県立こども病院	COVID-19感染症が5類に移行し、支部活動においては基本的な感染対策をとり、対面や交流の機会を増やすことをめざします。
北播地区	せきぐち やすえ 関口 靖枝	看	北播磨総合医療センター	支部の皆様とともに、これまでの支部活動にさらに磨きをかけ、看護職が生き生きと働き続けられる環境づくりに取り組んで参ります。
西播地区	さわだ ようこ 沢田 洋子	看	姫路聖マリア病院	兵庫県看護協会との連携を図り、支部の皆様の意見を反映しながら、地域の看護の発展に努めます。よろしくお願いたします。
但馬地区	おざき じゅんこ 尾崎 淳子	看	公立浜坂病院	支部の看護職員のニーズや地域性を活かした事業計画を遂行し、つながることを大切に支部運営に取り組んでまいります。

理事候補 <任期1年>〔推薦委員会推薦〕(改選1 候補者1)

区分	氏名	職種	所属	抱負
阪神北地区	かなたに みえこ 金谷 美恵子	看	県立丹波医療センター	看護協会・支部の皆様と連携し、「看護パワー」が高まるよう地区理事として努力いたします。よろしくお願いたします。

監事候補 <任期2年>〔推薦委員会推薦〕(改選1 候補者1)

氏名	職種	所属	抱負
しみず くみこ 清水 久美子	看	兵庫県看護連盟	監事にご推薦いただきました。大変難しく責任も重い役ではございますが、精一杯務めさせていただきますと考えております。

第2号議案

推薦委員の選出について(案)

推薦委員候補 <任期1年>〔推薦委員会推薦〕(定数9 候補者9)

(所属は令和5年4月1日現在)

区分	氏名	職種	所属	抱負
阪神南	あらい 新井 さゆり	看	西宮市立中央病院	役員・代議員などの推薦を公平に行い、適正に任務が遂行できるように努めてまいります。
阪神北	すぎがみ きょうこ 杉上 恭子	看	県立丹波医療センター	初めて候補者として推薦いただきました。協会員として又推薦委員候補者として恥じない様、精一杯役割を果たしていきたいと思ひます。
神戸東部	さいの なおみ 齊野 尚美	看	神戸低侵襲がん医療センター	今回初めての経験をさせていただきます。推薦委員として役割を遂行し、兵庫県看護協会の活動に貢献できるよう頑張りたいと思ひます。
神戸中部	たしろ りえこ 田代梨恵子	看	有馬温泉病院	昨年に引き続き、委員会活動に参加させていただきます。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
神戸西部	おんじ なおこ 隠地 直子	看	神戸掖済会病院	この度、貴重な経験となります。推薦委員としての責務を果たしていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。
東 播	たてえ 立栄 ひとみ	看	ふくやま病院	このような機会をいただき感謝いたします。初めてのことで力不足ですが、推薦委員としての役割を遂行したいと思ひます。
北 播	もりした ひろこ 森下 裕子	看	松原メイフラワー病院	研修ではお世話になっていましたが、この度推薦委員として身の引き締まる思ひです。御指導いただきながら役割が果たせるよう努力して参ります。
西 播	ないとう さとみ 内藤 里美	看	姫路聖マリア病院	推薦委員としての任務を遂行し役割が果たせ、看護協会の活動に貢献できるよう努めたいと思ひます。
但 馬	たにかど りか 谷角 理香	看	公立浜坂病院	今回初めて推薦委員を経験させていただきます。活動目標が達成できるよう、ご指導のもと任務を務めてまいります。よろしくお願い致します。

第3号議案

選挙管理委員の選出について(案)

選挙管理委員候補 <任期1年>〔推薦委員会推薦〕(定数9 候補者9)

(所属は令和5年4月1日現在)

区分	氏名	職種	所属	抱負
阪神南	おがわ たまよ 小川 珠代	看	県立西宮病院	この度、選挙管理委員候補者になりました小川と申します。公正な選挙に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。
阪神北	てらもと あきよ 寺本 明世	看	第二協立病院	川西市の第二協立病院の寺本です。この度選挙管理委員候補者に初めて挑むことになりました。よろしくお願いいたします。
神戸東部	おおつき のりこ 大槻 紀子	看	神戸平成病院	初めてのことで不慣れなことも多いと思ひますが、選挙が公正かつ適正に行われるよう役割を果たしていきたいと思ひます。
神戸中部	さとう わかこ 佐藤和歌子	看	松田病院	選挙管理委員として、選挙が公正かつ適正に行われるよう責任をもって努めます。また、選挙啓発にも取り組んでいきます。
神戸西部	しもなべ みどり 下鍋 翠	看	神戸掖済会病院	今回このような機会を頂きありがとうございます。公正な選挙が行われるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。
東 播	まつもと ゆうこ 松本 優子	看	高砂西部病院	選挙管理委員として、選挙が公明且つ適正に行われるよう責務を果たしていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。
北 播	おかわき むつこ 岡脇 睦子	看	服部病院	選挙管理委員として、選挙が公平且つ適正に行われるよう責務を果たしていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。
西 播	ながら なおこ 永良 直子	看	県立はりま姫路総合医療センター	選挙管理委員として、選挙が公正且つ適正に行われるよう責務を果たしてまいります。宜しくお願いいたします。
但 馬	むかい じゅんこ 向井 純子	看	公立八鹿病院	選挙管理委員として、選挙が公正且つ適正に行われます様に責務を果たしていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

第4号議案

2024(令和6)年度 日本看護協会代議員及び予備代議員選出について(案)

(所属は令和5年4月1日現在)

	区分	代議員	職種	施設名	予備代議員	職種	施設名
1	理事	大野 かおり	保	兵庫県立大学	山森 みどり	看	神戸市健康局
2		大迫しのぶ	看	兵庫県看護協会	西口 久代	保	兵庫県看護協会
3		田中 友己	保	伊丹健康福祉事務所	深見 薫	保	明石市感染対策局 あかし保健所
4		竹崎 裕子	助	西神戸医療センター	井上理恵子	助	姫路聖マリア病院
5		於田 里実	看	聖隷訪問看護ステーション淡路	松本 ゆかり	看	神戸赤十字病院
6		米富サオリ	准	順心病院	大磯 佳子	准	ツカザキ病院
7	阪神南	大内 智恵	看	西宮市立中央病院	玉田 かつ枝	看	西宮市立中央病院
8		西辻真奈美	看	西宮渡辺心臓脳・血管センター	金川 恵	看	西宮渡辺心臓脳・血管センター
9		小林香代子	看	尼崎医療生協病院	富永 容子	看	尼崎医療生協病院
10		神代 利枝	看	県立西宮病院	田阪 恵	看	県立西宮病院
11	阪神北	伊勢木祐紀子	看	ささやま医療センター	藤澤 仁美	看	県立丹波医療センター
12		大森 未央	看	近畿中央病院	宮崎 里美	看	ベリタス病院
13		大西 アイ子	看	宝塚市立病院	足立 康宏	看	三田市民病院
14	神戸東部	竹井 朋子	看	県立こども病院	越後 尚子	看	県立こども病院
15		横山 知子	看	東神戸病院	長岡利恵子	看	東神戸病院
16		三谷 理恵	看	兵庫医科大学	千葉 香苗	看	兵庫医科大学
17	神戸中部	束 慶玲	看	榮昌会吉田病院	矢野 美和	看	榮昌会吉田病院
18		新田 早苗	看	隈病院	村澤 理恵	看	隈病院
19		長田 幸美	看	小原病院	永田 陽子	看	小原病院
20	神戸西部	稲葉 大作	看	神戸医療センター	江藤 香織	看	神戸医療センター
21		青森美喜恵	看	適寿リハビリテーション病院	花岡 恭子	看	適寿リハビリテーション病院
22	東播	北橋 幸代	看	順心淡路病院	野村 奈央	看	順心淡路病院
23		竹井 米子	准	あさひ病院	河本 美紀	准	あさひ病院
24		甲斐 宗子	看	明石こころのホスピタル	渡邊 真二	看	明石こころのホスピタル
25		木下 昌子	看	洲本伊月病院	川 二美	看	洲本伊月病院
26	北播	長濱 幸	看	加東市民病院	藤本 有紀	看	西脇市立西脇病院
27		三枝 弘典	看	栄宏会小野病院	河嶋 貴世	保	小野市役所
28	西播	福永 敦子	看	井野病院	駒田 香苗	看	姫路赤十字病院
29		沢田 洋子	看	姫路聖マリア病院	小谷 ルツ	看	姫路聖マリア病院
30		中原 雅子	保	姫路市南保健センター	沼田 温子	保	姫路市保健所
31		太田 加代	助	姫路赤十字病院	芦田真知子	看	姫路赤十字病院
32	但馬	尾崎 淳子	看	公立浜坂病院	後垣 康子	看	公立村岡病院

※第1号議案から第4号議案の所属・施設名は、設置主体等を省略しています。

第5号議案

令和4年度兵庫県看護協会決算報告(案)及び監査報告

別途冊子でお渡します。

選挙管理委員会からのお知らせ

令和5年度本会代議員及び予備代議員の候補者として公示された方は、令和4年度支部会員会で全員当選されました。

男性看護師の育児休業 ～働きやすい職場～

昨年度、男性の育児参加を促す「改正育児・介護休業法」が施行されました。子供が生まれる従業員に育児制度を説明し、取得の意向を確認することが義務付けられ、出生後8週間以内に最大4週間休める「産後パパ育児」制度も始まりました。男性育休が特別視されるのではなく、当たり前となるよう意識の改革が必要です。今回は、4人のイクメンに育児体験談を語っていただきました。



- 竹本 幸平さん(川崎病院 看護師11年目 3歳のパパ)
- 土井 薫平さん(西脇市立西脇病院 看護師10年目 2歳のパパ)
- 宮内 貴弘さん(甲南医療センター 看護師6年目 4歳、1歳のパパ)
- 前原 翔太郎さん(関西労災病院 看護師12年目 5歳、0歳のパパ)

[聞き手] 田中 雄大さん
兵庫県看護協会広報委員
(加古川中央市民病院
看護師11年目 5歳と1歳のパパ)

—— 本日はお忙しい中、お時間いただき、ありがとうございます。今回、育児をしている男性看護師さんにお集まりいただき、育児休暇の取得や男性の育児についての体験談をお伺いします。

竹本：私は、育児休業を3か月取得しました。取得しようと思ったきっかけは、妻の実家に里帰り出産が出来なくなり、妻の希望もあって、取得しました。職場の先輩の男性看護師が先に育休を取ってくれていたの、私自身も周囲も抵抗なく、育児休暇を取得させてもらいました。



竹本 幸平さん

土井：私は、育児休業は取得をせず、希望の休みっていう形で出産後5日ぐらいお休みをいただきました。有休消化で休みを取った形になります。ちょうど日勤業務の休憩のタイミングで、妻から連絡が入りました。すぐに師長に相談してお昼から帰ってもいいよってということで、そのタイミングで帰りました。そこから休みに入った感じです。

宮内：私は、1人目の時は育休は取らず、2人目の時に先輩の男性看護師が同じ時期ぐらいに育休を取っていたので

イメージが湧きやすかったのがきっかけです。実際の育休がどんなものか色々体験談を聞く機会があり、いいイメージが持てたので関心を持つようになり、取得にいたりしました。あと妻の強い希望もあり、2か月取得したいなと希望もあったのですが、時期が1月の半ばぐらいだったので、異動や退職の関係で師長と相談して、1か月の取得になりました。

前原：私は、5年前はまだ師長補佐をしていなかったの、休みも取りやすくて育児休暇という形ではなかったのですが、有休消化とその他の休みを合わせて大体3週間ぐらい休みをいただきました。昨年にもう1人生まれたのですが、その時はもう師長補佐として働いていたので、長期的に休むのが病棟的にも厳しい状況だったので出産当日から配偶者の出産に伴う休暇を3日取得し、それに合わせて有休消化と夏期休暇で合計2週間休みました。周りに育休を使っている男性は増えてきてはいますが、世代的にも子育てや出産に関わる男性スタッフも増えてきたので育児休暇を取得するように進めていますが、なかなか休みにくいと言って、取らないスタッフが結構いるのが現実ですね。



前原 翔太郎さん

—— 育休取得中や産前産後休暇中のお家や職場でのエピソードはどのようなものがありましたか？

竹本：私のところは、母乳で育児をしていたので、そこは妻の代わりが出来ないので、家事や料理であったり、全般的にやってきました。子供の反応などを妻と2人で共有したり、話し合いながら過ごしました。3か月という長い期間、妻、子供と一緒に家にいる生活は、これから先もないだろうと考えさせられた、とても貴重な時間でした。

特に、新生児の期間に3時間おきに起きて、オムツを変えて、また寝てと普段経験出来ない事を経験出来たのも育児休暇を取得出来たからだと思っています。職場とのやり取りも育児休暇中は特になにもなかったのが本当に育児に専念する事が出来て、職場には感謝しています。

土井：私は育児休暇は取得してないので、働きながら仕事と育児の両立していました。結構、夜泣きがすごくて、妻はずっと夜も寝れない状態で、私もなかなか起きなくて、大変な時期はありましたね。妻も、子供が1歳なるまでぐらいまでは、1日中ずっと一人で育児する事は精神的に辛かったと思うんです。なので出来るだけ家にいる間は、一緒に育児に参加するように意識はしましたね。妻とは職場が一緒なので、希望を出さなくても、師長さん同士で勤務が被らないように調整してくれて、子供と出来るだけ居れるように配慮してくれているので助かっています。



宮内 貴弘さん

宮内：私は妻の実家で1か月過ごしました。沐浴をしていた時に「1人目の時はあんまり出来てなかったな」「こういうの任せっきりやったんやな」と思って、大変でしたけど、新生児の時期に育児を経験出来たのは良かったなと思います。沐浴もなかなか大変で、義母と妻にアドバイスもらいながら、育児に参加した感じですね。長男ともずっと一緒にいたので、ゆっくり話できたのが嬉しかったですね。

前原：私も2人子供がいて、1人目の時は3週間ぐらい休みもらって、1日おきにどっちかが子供と寝る、どっちかは1人で寝るを1日ごとにやってきました。2人目の時は夜泣きした時に、休みの前と夜勤の前は、僕が0歳の子供と寝て、妻はお兄ちゃんと一緒に寝るようにして、毎日夜泣きに悩まされる状態を作らないようにしています。あとは育児グッズ欲しいって言われたら、すぐ買います(笑)

前原：私も2人子供がいて、1人目の時は3週間ぐらい休みもらって、1日おきにどっちかが子供と寝る、どっちかは1人で寝るを1日ごとにやってきました。2人目の時は夜泣きした時に、休みの前と夜勤の前は、僕が0歳の子供と寝て、妻はお兄ちゃんと一緒に寝るようにして、毎日夜泣きに悩まされる状態を作らないようにしています。あとは育児グッズ欲しいって言われたら、すぐ買います(笑)

—— 男性看護師の育休取得が進むのに、どんなふう環境が変わればいいのかをお聞きします。

竹本：前例を作っていくこと、取得しやすい環境作りをしていくのが大事かなと思います。例えば今回のようなエピソードや座談会を広めていって、休暇をとりやすい環境を作っていくことに努めていくことが大事だと思います。私が知ってるだけでも、3名は育休に入られてたと思うので、取りやすい環境になってるのかなと思います。

土井：ここ数年で子供ができた男性看護師もいますが、実際あんまり育休取得していません。今回、実際に育児休暇を取られてる方とお話させてもらい、僕も取れるんだと思いました。病院的にも、男性看護師の育児休暇を取りやすくしていこうっていうことで動いているようなので、今回勉強したことを病院に持ち帰って発信していけたらと思っています。子供ができたタイミングで、男性看護師の方も「育児休業」っていうことについて把握できていないことも課題かなと思います。



土井 薫平さん

宮内：育休という言葉は知ってたんですけど、実際どんなものかも知らなくて、1人目の時は取りませんでした。2人目の時に、取得した男性看護師の人がいてイメージが湧きやすくて、取得し、実際取得してよかったと思うので、こういう機会にもっと発信出来たら、取得率が上がると思います。職場の同僚や上司も男性の育児休暇に認知があって「そりゃ育休取るでしょう」みたいな、当たり前な感じで自分の立場のように言ってくれて、取っていいんやって感じでした。

前原：前例があるってすごい大事で、先輩が取ってよかったよみたいな意見があるというのは大事だと思います。女性は、妊娠出産に伴って体の変化があって、そろそろだなんていうのがわかるんですけど、男性は、口で言わないといつ生まれるかわからない。自分で発信していける環境が大事かなと思います。男性で育休が取れることを知らない人がまだいて、「どうやって取るの」「どこに何を言ったらいいの」みたいなことはあまり知らない。前例が増えていけば、聞けるところも増えて、理解が進むと思います。皆さんが前例となって、周知できたら取りやすい環境がさらに広がると思います。

—— 育児休暇制度が、男性も女性も取得できるような認知や職場環境がもっと広がるといいですね。本日はお集まりいただきありがとうございました。

ジェネレーションギャップを埋めよう！

～新人看護師と先輩看護師間の相互理解を深めるために～研修 実践報告

日時:令和5年1月16日(月)13時30分～16時30分

講師:甲南女子大学看護リハビリテーション学部 准教授 新井祐恵氏

本会では、令和2年から、コロナ禍の影響を受けた看護教育現場と臨床現場がどのように新人教育を実施しているかを知るために教育現場・臨床現場・行政・本会教育企画委員会による交流会を行ってきました。

新人看護師は、さまざまな経験不足によりリアリティショックを起こす可能性がこれまで以上に高いことが想定されました。育てる側の先輩看護師にとっては新人看護師がコロナ禍でどのような学生生活を送ってきたか想像できていないという現状も明らかになり、教育企画委員会が相互理解しあうための研修を企画しました。

「各世代の社会的背景を踏まえた特徴」、「コロナ禍が基礎教育現場と臨床教育現場に及ぼした影響」等について講義され、Z世代のみならず他の世代についても知ることができました。会場では自己の世代を分析し振り返っていました。グループワークを①新人、先輩同士②同じ職場のペア同士の2回行い教育企画委員がファシリテーターとなり進めました。先輩の話しやすい雰囲気づくりでスムーズに会話でき、新人も職場では直接言えないことを素直に表現することができていました。双方が相手の立場を理解した対応を考えることができたようです。

新人看護師の意見

- ・Z世代と呼ばれて、打たれ弱いと思われているかもしれないが、すべてがあてはまるとは思わない。
- ・先輩看護師から指導を受けた時、それぞれ違うアドバイスを受けることがあり、何が合っているのか戸惑うことがある。
- ・怒られるときは一方的な時が多く、あとからあの時言ってくれたらよかったのと言われることがあり、その時言える雰囲気なら言っていたのにと、あとあと引きづってしまう。
- ・処置や技術など、できるよねと聞かれると不確かであってもできないと言にくい。
- ・課題を提出するよういわれた時、入職数が月はいつまでかを言ってもらえたが、いつの頃からか、期限があるのかなのか困ることがある。
- ・先輩の顔をうかがいながら、ちゃんと返答してくれる先輩を探してしまう。
- ・質問したいことがあるときに、忙しくしている先輩に声を掛けにくく、返答してもらえても、いい顔をされない時がある。
- ・学生時代に実習が少なかった分、患者と接する時や患児の親御さんと接する時は緊張する。
- ・日頃の悩みを相談できる相手は、この人なら頼れるという先輩や両親、同期である。
- ・習得した知識や技術をチェックリストで評価したり、課題について先輩看護師に確認してほしい時に、忙しい中で時間をとってもらって確認してもらわないといけなくて申し訳ない気持ちになる。
- ・Z世代の新人と言われるが、先輩たちの新人時代の特徴を聞く指導などとても厳しかったということがわかった。



教育企画委員会



新人・先輩ペア同士のワーク

先輩看護師の意見

- ・Z世代としての対応に注意がいきがちだが、個々により素直なところがある。
- ・自己学習については出元が不明瞭な資料のコピーを張り付けていることもある。
- ・指導を担当する人以外の先輩看護師にも、Z世代について理解してもらわないと、新人を指導する時に偏ったイメージのままになってしまう。自分たちにも新人時代があったように、世代の違いを理解して受け入れようという気持ちはある。
- ・学内実習が多く実際の患者と接する機会が少なかったせいも、患者とのコミュニケーションが上手くとれない。また面会制限の影響で家族への説明、指導の機会が少なくなっている。
- ・想像力が乏しく、言われた通りのことしかできない。新人のこの特性をよく理解した上で、指示は細かく伝えることが大事である。
- ・以前のような食事会などが自由にできない状況の中で、お互いを知る機会が減っているため、帰宅時間が合ったりと言葉を交わしたり、時間をみつけてお互い理解しようとしている。
- ・先輩側から声をかけるなど、新人が声掛けしやすい雰囲気をつくり、聞かれたときに即答できない時は、具体的に何分後にか時間をとって返答することを伝える。

令和4年度認知症看護認定看護師教育課程B課程 2期生 修了者の声

この度、認知症看護認定看護師教育課程B課程を修了いたしました。eラーニング期間中は個人学習が中心となり、受講者同士のつながりを感じることは少なく、認知症看護について学べているのか不安な時期でした。しかし、集合研修が始まって以降は、2期生20名が同じ教室で集まり、より2期生の一員であることを感じる事ができました。また、20名が一緒に学ぶことで、一層認知症看護を深めることができました。実習やケーススタディでは自分の



思考過程を伝えることが求められ、言語化の難しさを実感しました。その中で、先生方や指導者の方々の支援をいただきながら、「実践者であること」と「認知症看護認定看護師として発する言葉の重み」を痛感しました。今後は、この二つを軸に認知症看護を探求していきたいと思えます。

また、このような学びの時間を頂けたことに感謝し、仲間とのつながりを大切にしながら各所属施設で実践していきます。

2期生 一同

コロナ禍で、現場では同期が集まる機会や職員が看護を語る機会が極端に減っている現状をふまえ、**同年代や同じ役割の看護職が話し合えるような研修**を企画しました。

この機会に、仲間と集い、看護を語り、看護の価値に気づき、看護の喜びややりがいを実感しませんか！多くの皆様のご参加をお待ちしております。

対象	研修名	おすすめポイント
新人	チームで働くために必要なコミュニケーションスキル	患者やチームメンバーとより良い人間関係を築けるよう、コミュニケーションの基本が学べます
3年目	個人とチーム成長を促す新たなリーダーシップを学ぼう	これからの時代に求められるリーダーについて学びリーダーシップを発揮しませんか
4年目	倫理的感性を高めよう	日々直面している違和感やジレンマへの対応について、事例検討を通して考えてみませんか
5年目	現場に求められるファシリテーションスキルを磨こう	ファシリテーションスキルを実践的に学び、カンファレンスやチーム運営に活かせる研修です
実習指導者	臨地実習指導の基本を学ぼう 基礎編	学生を育てることを通して、自身の成長につながる研修です。これから指導者になる方にお勧めです
看護師長	スタッフが看護を語る職場を作るために	スタッフが看護を日々語り合うことができる職場風土づくりについて考えてみませんか

*上記研修以外に新規研修を企画しています。
各研修の詳細は、令和5年度教育研修計画タブロイド版(3月発行)をご覧ください。

令和4年度 看護管理実践発表会(第4回)を開催しました

テーマ:人の心を動かし、繋ぎ、支える看護管理者の育成を目指して

2月25日(土)に、第4回 看護管理実践発表会を開催いたしました。この発表会は、セカンドレベルと、サードレベル(隔年開催)修了後の方をはじめ県内の認定看護管理者の実践発表の場です。看護管理者が取り組む実践は現場で山積みの問題がテーマで、背景の違いはあっても共通の話題です。他施設の実践報告を共有し、看護管理者間のつながりと問題解決に向けた視野の広がりが期待できます。

今回は、令和3年度のセカンドレベル修了生43名から演題発表の申し出があり、また県内認定看護管理者8名の方の快諾をいただき、発表は9群46席、参加者はオンライン併用で133名と、どの会場も充実した発表と質疑が行われました。また、記念講演は、国立国際医療研究センター病院看護部長の佐藤朋子氏をお招きし、「心理的安全性を高める組織づくりー看護師長学習会を通してー」をご講話いただきました。講演内容は、「心理的安全性」の概念と看護師長学習会の取り組み、そして「安心感」や「自由度」を感じる環境の効果についてのお話でした。アンケートでは、「色々な管理の実際が聞けて自施設の課題の参考になった」「現場の問題が共有でき対策のヒントが得られた」「認定看護管理者の発表を聴講できる貴重な時間だった」などの意見と共に今後も継続を望む意見が多数寄せられました。

次年度は、令和4年度のセカンドレベル・サードレベル修了生を中心として開催します。看護管理者の交流の輪が広がるよう、さらなる発展に向け努力してまいります。



記念講演講師
佐藤朋子氏



発表会場(研修室2)の様子



ライブラリー ニュース
【Library News】は、
本会ホームページより
ご覧ください。

利用の詳細 最新情報→
雑誌や図書の紹介も
お読みいただけます。



【パソコンコーナー】設置のお知らせ

本会会館3階にオンライン研修を受講できるように専用ブースを作りました。対象者はオンライン研修受講が困難な方です。

事前予約が必要です

TEL:078-341-0190



ナースセンターだより

令和3年度 看護職員の確保状況等に関する実態調査報告書（一部抜粋） （※後日、報告冊子送付予定）

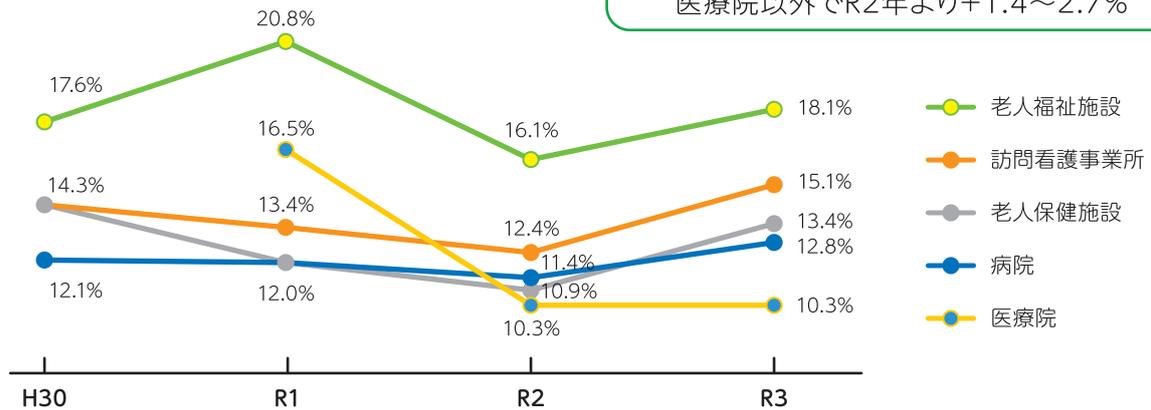
調査期間 令和4年6月～7月

回答率

病院 (303) 87.6% 訪問看護事業所 (502) 65% 介護老人保健施設 (94) 58%
 介護老人福祉施設 (268) 63.2% 介護医療院 (16) 72.7%

1 領域別看護職退職率年度推移（常勤）

グラフのR3常勤Ns退職率は
 医療院以外でR2年より+1.4～2.7%



2 管理者が確認できた退職理由上位5位

退職理由の上位5位までが50%以上を占め、例年、同様の理由が上位に入る。

病院	訪問看護ステーション	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護医療院
免許を活かした他分野への興味・転向	身体の健康上の理由	身体の健康上の理由	身体の健康上の理由	その他
その他	その他	上司・同僚等職場の人間関係	上司・同僚等職場の人間関係	身体の健康上の理由
身体の健康上の理由	免許を活かした他分野への興味・転向	その他	その他	定年退職
結婚	自分の適正・能力への不安	定年退職	自分の適正・能力への不安	親の世話・家族の介護
精神の健康上の理由	親の世話・家族の介護	免許を活かした他分野への興味・転向	親の世話・家族の介護	育児・子どものため

3 採用方法

いずれの領域もホームページ、ハローワークが多い。

採用方法	病院	訪問看護ステーション	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護医療院
① 法人・事業所のホームページ	24.1%	21.8%	23.4%	19.9%	23.6%
② ナースセンターへの登録	10.5%	7.7%	6.2%	3.9%	14.5%
③ ハローワークへの登録	19.0%	23.9%	26.6%	28.9%	23.6%
④ 合同就職説明会への参加	10.0%	2.2%	4.0%	4.4%	1.8%
⑤ 学校訪問	7.2%	0.6%	2.9%	1.0%	3.6%
⑥ 求人誌・広告	8.8%	13.5%	10.6%	13.2%	10.9%
⑦ 仲介（派遣）業者	14.9%	16.0%	18.6%	16.3%	18.2%
⑧ その他	5.4%	9.9%	5.8%	7.7%	1.8%
無回答	0.1%	4.5%	1.8%	4.6%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

e ナースセンターの登録を！

(e ナースセンター：ナースセンターの無料職業紹介をインターネット上に展開したシステム)
 仕事を探している方が、e ナースセンターに登録をすると、ご自身で本システムに登録中の求人情報を閲覧し、仕事探しができます。仕事選びで困ったときはナースセンター相談員の支援を受けることも可能です。

「看護職員の賃金制度の抜本的見直しに関する緊急勉強会」の開催ご報告

令和4年11月18日、「国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表」を改正する人事院規則が公布されました。改正に伴い、兵庫県看護協会でも1月24日、2月7日に緊急勉強会を開催し、看護管理者や事務長、人事担当者など、計185名の申込者がありました。

講義では、改正ポイントや賃金制度の基本知識について学び、グループワークにおいては、賃金制度に関する素朴な疑問や、病院経営、人事考課等のほか、多岐にわたる現場の課題について話し合わせ、活発な意見交換が行われました。看護職の働く環境や処遇が注目されるいま、この機会を捉えて、改善を進める機運が高まっています。

改定内容	①管理的立場にある看護師 (看護師長、副看護師長)	3級「副看護師長」を新たに規定 4級に「看護師長」を代表的職務として規定
	②特に高度の知識経験に基づき 困難な業務を処理する看護師	★3級に新たに規定

改正に関しては以下のwebサイトをご参照ください。

- 日本看護協会「看護職の働き方改革の推進—看護職の賃金・給与」
<https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/chingin/index.html>
- 日本看護協会「看護職の収入増に向けて」
<https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/chingin/improvement/index.html>

令和5年 看護週間記念行事のご案内

5月12日「看護の日」を中心に県内各地で健康生活を応援するイベントが開催されます。
(参加費無料)看護を身近に感じていただける内容を企画しています。
また、今年は5月11日に兵庫県内をラッピングバスが巡行します。
お楽しみに♪
開催場所・日時・内容等は本会ホームページをご覧ください。



5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に

令和5年度 ナースセンター研修・イベント等

詳細はホームページに掲載予定です。お申し込み・お問い合わせは、兵庫県ナースセンターまで。
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、研修会等の開催について変更の可能性があります。



届出制度のご案内

現在、看護師等のお仕事に就いていない方

看護師等免許保持者の届出はスマートフォンやパソコンで簡単にできます(届出は努力義務)。
看護師等免許保持者の届出制度「とどけるん」のお届けを忘れていませんか?



QRコードからご登録できます



『ナースの応援団特設サイト』が
新しくなりました♪
『兵庫県ナースセンター
公式Twitter』もご覧ください。

New!

Check!



特設サイト



Twitter

兵庫県ナースセンター連絡先一覧

詳細はホームページ <https://www.hna.or.jp/> またはナースセンター(本所)へお問合せください。

本所
078-341-0240

姫路支所
079-281-5006

宝塚支所
0797-63-5472

サテライト北播
0795-42-0242

サテライト但馬
079-663-0240

阪神北支部

高めよう看護の力! 広げよう看護の輪!!

地区理事 菅村 幸代

阪神北支部は、南北に長く、山間部から都市部まで様々なカラーの地域が集結しています。今年度はコロナ禍で休止せざるを得なかった活動を再開しています。

“高めよう看護の力!”：教育委員会が会員のニードを捉えて研修会を開催。今年度は、「明日から実践。褥瘡を治そう!防ごう!」と「倫理研修」を行いました。また、「看護研究発表会」では16演題の発表があり、各施設で看護に向き合い、高めようとする意欲を感じました。安全委員会では、「医療安全交流会」を2回開催しました。今年度は「インシデントレポートの活用」をメインテーマにし、安全管理について活発な意見交換が行われました。各施設の分析の仕方や対策の立て方など、学ぶことが多く、とても有意義な交流会になりました。

“広げよう看護の輪!”：感染の波が引き、社会が平常に戻りつつあるため、まちの保健室も再開します。今は、これまで活動していた拠点地を回り、覚書の更新を行っています。活動を広げ、地域の方々に看護の輪を広げていきたいと思ひます。今後は会員間の輪を広げ、活気ある支部になるよう活動を進めていきたいと考えています。



「報告会の風景」

神戸東部支部

チーム力全開! 「地域連携でつなげる看護の力」

地区理事 柴田 美由紀

神戸東部支部は、高度急性期病院から在宅までの幅広い地域医療、看護を展開して地域の方々を支えています。昨年より「地域連携でつなげる看護の力」をキャッチコピーに活動を再開しています。

まちの保健室は現在3か所の拠点で活動しています。昨年から新たに東灘図書館での活動を開始しました。血管年齢測定に興味を持っていただき、実年齢よりも高い結果に驚かれ生活指導を受けた方や、拠点活動を待っていたリピーターの方もおられました。地域に必要とされている活動であることを実感することができ、今後も感染対策に留意しながら幅広い年齢の方々のサポートができるよう取り組んでまいります。

また、地域窓口連携委員会では昨年11月に「意思疎通が難しい患者の意思決定支援」をテーマに六甲病院の緩和ケア内科、安保先生を講師に研修会を企画しました。意思疎通ができない患者さんであってもその人の人生を振り返り、コミュニケーションをとることや、ケアチームと医療者、家族などが話し合いアドバンスケアプランニング(ACP)を目指して地域の連携を深めることが大切であることを学びました。on-line36名を含めた40名の参加者が、地域の中で活躍してくれることを願ひながら、今後も継続して研修会や連携強化につながる課題に取り組んでまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



「まちの保健室活動中」

神戸西部支部

コロナ後に期待を寄せて準備着々

地区理事 岸 典子

神戸西部支部では、「教育」「まちの保健室」「医療安全」「地域連携窓口」の4つの委員会が活動しています。医療安全委員会は今年度より活動を再開し、第1回と第2回の委員会に引き続き研修会を行いました。多くの会員の皆様に参加していただけのように会場とオンラインの併用で開催しました。テーマを「医療安全交流会～現場での困りごと～」としましてシリーズで行っています。2月は病院やクリニックでよくあるクレーム事例の内容で行い22名の参加がありました。令和5年度も同様の形式で、皆様の医療安全に関する困りごとに対応する内容を検討し開催することを計画しております。

教育委員会では3回研修会を行いました。まちの保健室委員会では、コロナ禍で従来の活動ができない状況が続いていますが、ボランティア研修会を企画し、活動を再開する準備を進めています。地域連携窓口委員会では、非会員を対象に診療所ナースWEBカフェを開催し、診療所の看護師間の交流を図り会員拡大に繋がるような活動を行っています。

会員の皆様のご支援、ご協力をいただき神戸西部支部の活動をより良いものにしていきたいと思ひますので、委員会や研修会、まちの保健室ボランティア活動にご参加いただき盛り上げていただきますようよろしくお願ひ申し上げます。



「医療安全研修会のグループワーク」

西播支部

地域の未来のために、看護の力を発揮しよう!

地区理事 駒田 香苗

西播支部は「教育」「医療安全」「健康危機管理」「地域連携」「まちの保健室」の5つの委員会があります。西播支部は広範囲の地域であることから、コロナ禍でもオンライン研修も積極的に取り入れた研修会も多数実施してきました。特に健康危機委員会は日本災害看護学会で、医療安全委員会は日本医療マネジメント学会で活動の成果を発表しています。西播支部の委員の皆様の熱意には、いつも感動しています。

ネットワーク事業も毎年実施していますが、令和4年度は地域で働く多職種が集まり、「在宅医療を支えるために、わたしたちに出来ること」をテーマに写真のような研修を行いました。人生の主役は誰なのか?という原点に立ち返り、「うちげで逝きたい」という映画と一緒に観て、それぞれの立場でACPのあり方や看護職の役割について話し合う機会となりました。

また、当地域で看護職が成長できるよう就職説明会も毎年行っています。あらゆる場で働いている看護職の為に、未来の看護職の為に、地域住民の為に、今後も仲良く楽しく活動してまいりたいと思います。



西播支部ネットワーク研修 令和4年11月26日
「在宅医療を支えるためにわたしたちに出来ること」
講師：孫 大輔 先生

但馬支部

地域をつなぐ大きな力へ

地区理事 福井 あけみ

但馬支部では「教育」「医療安全」「まちの保健室」「地域連携/健康危機」の委員会が活動を行っています。今年度の研修会はコロナの感染対策を取り、感染拡大時には延期するなど日程調整をしながら、6月に認知症看護と10月に身体拘束を対面で、11月にフィジカルアセスメントをオンライン併用で開催しました。コロナ以前より支部研修は会員のニーズに沿った内容であること等から好評でしたが、オンライン併用の研修は但馬以外の支部から3割もの参加者があったことは思いがけない出来事でした。3月の看護実践報告会もですが、今後もオンラインを上手く活用しながら研修を企画・運営していきたいと思っています。

まちの保健室は昨年までは殆どの活動を自粛せざるを得ませんでした。今年度は5カ所で行前隊を開催しました。地域連携/健康危機はネットワークづくりと災害訓練について検討を重ねています。但馬は1,291名と支部の中で一番少ない会員数ですが、顔の見える関係性が出来ているところが強みです。会員の皆様のご支援をいただきながら、地域とつながり、超高齢少子化に対応できるよう活動に取り組んで参りますので、今後ともよろしく願いいたします。



「フィジカルアセスメント研修風景」

「子育て中の看護職交流会」を開催しました!!



「DAGASHIで世界を笑顔にする会」から1万個の駄菓子を、「株式会社リタニアル」から口腔ケアに効果的な飴をいただきました。子育て中の看護職の交流会を開催し、袋に駄菓子の詰め放題を楽しみました。保育所探しの苦労話や、2人の子供を別々の保育所(託児所)に預けて毎日頑張っていること、仕事で疲れていてもわんぱく盛りの子どもの世話で毎日へとへとになっていること、仕事と子育ての両立が保育園の時より厳しくなった“小1の壁”など、日々の子育て奮闘記を聞かせていただき、みんなでわいわいおしゃべりを楽しみました。子どもたちの笑顔に元気をもらった1日でした。

事業部

令和4年度「まちの保健室」研修会

「相談員のメンタルヘルス」～より良い相談活動につなげるために～

講師：フェリアン 副所長 津村 薫 先生

日時：令和5年2月18日(土) 13:30～16:30 ハイブリッド 参加者25名

今年度はメンタルヘルスについて学び、日々の相談活動に活かすために研修を企画しました。ストレスは心と体に深い関係があり、病気にならない心と体をつくるのが大事であること、ストレスマネジメントとして、自分自身のストレス反応に気づくこと、ストレス対処法を習得し、日々の生活を改善することの重要性を指摘され、その具体的な方法を学びました。「ストレスはゼロにしていけない」「自分自身の心身を整え」「より良い相談活動に繋がしましょう」「ソーシャルサポートを大切にしましょう」「助け上手」以上に「助けられ上手」になろうという言葉をいただきました。



ストレス対処法の一例
(肩まわし体操)

参加者の声

自身のタイプを知ることで、具体的な予防策を学んだ。まちの保健室活動に自信を持てた。自分自身が心身ともに健康であることが一番大事であり、「嫌な記憶は上書きできる」という言葉に勇気もらった。相談指導の相手に、必要以上に責任を感じなくても良いと思うと楽になる。

訪問看護総合支援センター

『看護管理者の魅力とは？次世代へつなぐ看護管理』(令和5年2月7日開催)

神戸リハビリテーション病院の茨木看護部長から、管理者としての好循環の経験談をうかがった後、病院・訪問看護ステーション・介護施設等の管理者が、次世代の管理者育成についてグループワークを行いました。参加者の職位は違いましたが、次世代育成の苦勞に共感したり、違う場で働く管理者の現状を知ったりすることにより、自施設での次世代の管理者育成に取り組む気持ちを新たにされたようでした。

『病棟看護師にとって退院支援は難しい？～退院後を支える人に聞いて学ぼう～』(令和5年2月22日開催)

退院支援を行うためには、地域にあるサービスを知り、看護をつなぐ必要があります。今回は、訪問看護だけでなく、介護医療院・看護職が在籍する小規模多機能型居宅介護事業所から、施設の紹介と紙上事例の退院後の生活について提案をしていただきました。看護職が地域にあるサービスを理解することで、患者の意思を大切にす看護の選択肢を増やしていただけたのではないのでしょうか。

訪問看護総合支援センターでは、訪問看護を学ぶ研修だけでなく、看看連携研修や多施設の管理者の交流会等も開催しています。今年度は、ぜひご参加ください。

広告

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（換気・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 学校保健委員会
- メンタルヘルス研修
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご依頼承ります
(季節にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに際しましては、二次元バーコードよりお問い合わせください。届後よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



TUK 東洋羽毛関西販売株式会社 神戸営業所 ☎ 0120-360420

第2回施設代表者会・講演会を開催しました。

令和5年3月2日の施設代表者会において「看護師確保を紹介業者に頼らずに済む兵庫県を目指して」というテーマで一般社団法人看護職の採用と定着を考える会 代表理事 早田真二氏にご講演頂きました。

看護師確保や定着についてはどの地域の施設においても課題となっています。そこで、兵庫県内で一丸となり、この問題に取り組んでいくことができたという願いから企画しました。紹介業者の現状を知り、支部間の連携で何ができるのか考える機会としたいと考えました。

早田氏からは、紹介業者と効果的に連携をすることや紹介業者の仕組みについて院内教育する必要性が示唆されました。そして、各施設だけでなく地域全体で看護師確保と育成について考えていくことが重要であると強調されていました。

兵庫県内で看護をすることの魅力“オール兵庫”で発信していきましょう。

齋藤元彦兵庫県知事へ要望書を提出しました

1月6日(金)に兵庫県の当初予算について重点要望を提出しました。齋藤元彦知事からは、看護職は保健医療福祉において重要な存在であり、コロナの最前線で献身的にご尽力いただいている看護職の皆様へ感謝の言葉があり、要望について真摯に話を聞いていただき、幅広く意見交換ができました。

最重要要望事項

- 1 看護職の確保と人材育成
- 2 看護職の働き方改革の推進
- 3 看護職の処遇改善の実現
- 4 専門性の高い看護職の育成促進とネットワークの推進
- 5 災害・新興感染症等に対する体制の整備



理事会の報告

第8回理事会 令和5年1月21日(土) 10:00~12:10

出席理事17名より、定足数を満たしていることを確認 出席監事 2名

協議事項

- 1) 令和5年度支部活動計画について ……承認
- 2) 令和5年度委員会活動計画について ……承認
- 3) 2024年(令和6年)度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出(案)について ……承認
- 4) 令和5年度定時総会議長団候補者の選出について ……承認
- 5) 受講料等に関する規程の改正について ……承認
- 6) 講師謝金等規程別表の改正について ……承認
- 7) 会館施設等使用規程の改正について(ハーモニーホールの映像・音響設備の整備に伴う対応について) ……承認

第9回理事会 令和5年3月2日(木) 10:00~12:10

出席理事19名より、定足数を満たしていることを確認 出席監事 3名

協議事項

- 1) 兵庫県看護協会 令和5年度事業計画(案)について ……承認
- 2) 兵庫県看護協会 令和5年度予算(案)について ……承認
- 3) 兵庫県看護協会 令和4年度補正予算(案)について ……承認
- 4) 資金運用規程の制定と会計処理規程の改正 ……承認
- 5) 2024(令和6)年度日本看護協会代議員・予備代議員の理事会推薦について(案) ……承認

第10回理事会 令和5年3月18日(土) 10:00~12:30

出席理事20名より、定足数を満たしていることを確認 出席監事 2名

協議事項

- 1) 令和4年度重点方策及び重点事業報告 ……承認
- 2) 令和4年度支部活動報告 ……承認
- 3) 令和4年度委員会活動報告 ……承認
- 4) 令和5年度定時総会における書面による議決権行使について ……承認
- 5) 定時総会における役員等の選出にかかる選挙管理委員会規則の改正 ……承認
- 6) 組織・人事関係 ……承認
- 7) 会員特典候補について ……承認
- 8) 令和4年度兵庫県看護協会委員会委員の辞任に伴う後任委員の選任について(案) ……承認
- 9) 令和5年度兵庫県看護協会「まちの保健室」ボランティア表彰候補者の推薦について ……承認

兵庫県看護協会の動き

(令和5年4月16日~7月15日)

- 5月11日(木) 看護の日記念事業
- 5月20日(土) 午前:理事会 午後:日本看護協会代議員研修会
- 5月27日(土) 午後:本会代議員会
- 6月15日(木) 令和5年度 兵庫県看護協会定時総会・各職能集会理事会
- 7月 6日(木) 看護大会
- 7月 8日(土) 午前:理事会 午後:理事・支部・委員会合同会議

令和5年度
日本看護協会通常総会・全国職能別交流会
6月7日(水)~8日(木) 〈千葉県(幕張メッセ)〉

令和5年度兵庫県看護協会定時総会・職能集会
6月15日(木) 〈兵庫県看護協会会館〉

広告

50th
Anniversary
創立50周年

株式会社日本看護協会出版会

いつも“看護”とともに。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F
TEL: 03-5778-5712 <https://www.jnapc.co.jp>

高知沖自衛隊艦艇等を活用した災害活動訓練に参加して

兵庫医科大学病院 雑賀 逸平

私はJMAT兵庫の看護師として、自衛隊艦艇(補給艦「おうみ」)を活用した船舶における災害医療活動の検証訓練に参加しました。

目的は、「初動から活動完了までの実働訓練で、その実効性を確認するとともに、災害時における船舶等を活用した災害医療活動の有用性等を検証すること」で、兵庫県看護協会からは災害支援ナース3名が参加しました。

担当エリアは、軽・中等症患者入院エリアで、兵庫JMAT以外にも参加医療チームはDMAT、AMAT、JMAT、都道府県の災害支援ナースの混成チームが参加していました。実働訓練のため、勤務形態は日勤勤務と夜勤勤務に別れての勤務で、災害対象は南海トラフ地震、活動場所は高知県の沿岸域洋上を基本とし高知港への接岸状態も含まれていました。想定対象期間は、地震発生から72時間以降で活動開始から10日目には新規入院患者の受け入れを停止、受け入れている全ての患者の転院・退院に伴い活動は終結される想定とされていました。入院を受け入れる患者在院日数は、退院までの在院日数が7日以内程度と診断された中等症患者、または、7日以内に陸上の医療機関への転院の調整が完了している中等症患者とされていました。症例患者は中等症で、①創傷処置(縫合・洗浄・抗生剤点滴等)の必要な外傷患者、②入院適応ではないが疼痛コントロール目的の腰椎・四肢骨折の患者、③術後経過は安定しているが創傷処置が必要な患者、④酸素需

要がある肺炎患者、⑤抗生剤投与のみの尿路感染症患者、⑥点滴加療が必要な胃腸炎の患者、⑦その他、艦艇の医療設備・器材で入院治療が可能な症例が設定されていました。患者搬入や搬出、医療者をはじめ人員の交代においては、1度に10人以上を搬送する必要もあり、自衛隊回転翼航空機のCH-47を使用していました。

私たちの担当エリアである第4病室(第2弾薬格納所)には、16床のベッドとトイレ2基を設置し病室として展開していました。ヘリで乗艦した患者フローについては、飛行甲板荷扱所で医師がトリアージし、第4病室対象となった患者はトリアージポストより第4病室の医師に連絡が入り、自衛隊員と医療者(患者搬送の応援要請があれば第4病室スタッフも対応)により搬送されてきました。カルテは災害診療記録2018年版を使用していました。船舶での医療活動は、スタッフおよび患者の酔い対策、揺れの中や意図的な照度の暗さ(弾薬庫のためショートによる事故を避けるため)での医療行為と看護実践上でのリスクマネジメント、艦艇の旋回に対する安全確認(什器、机など、ナースワゴン等のタイヤ固定の確認)の必要性や医療従事者の環境適応の必要性も体験できました。また、勤務交代においてはヘリの離艦時間があるため申し送りの工夫が必要となることも分かりました。

今回の実働訓練は、実時間と実時間をスキップした想定時間を設定した訓練だったため、出てきていない問題もあった事が考えられます。想定されている約10日前後の療養生活においては解決すべき課題が出てくることが予測でき、医療提供体制において良い訓練となりました。



HNAメールインフォにご登録ください

ご登録いただいた会員施設に、随時タイムリーな情報をお届けします。
ご登録がまだの施設はこの機会にお願いいたします。
会員代表者氏名等に変更がありましたら、ホームページより変更してください。

採用者には **[Amazonギフトカード]1,000円分進呈!**

募集!

- Voice of Hyogo Nurses
- 看護ひょうご表紙写真

投稿先 / koho@hna.or.jp

詳しくは、QRコードからご確認ください

編集後記

桜の花びらが風に舞い、春たけなわといった季節となりました。入職や異動、転勤等で、新しい生活が始まった方も多いことと思います。広報委員会では、医療・看護の動向や会員の皆様のニーズに合った情報を発信できるよう新たな企画に取り組んでいます。中でも若手看護職に焦点を当てた「座談会」は、貴重なお話を間近で聞くことができ、役得を実感しています。これからも会員目線での広報を心掛け、活動していきたいと思っております。(石田)

● 広報委員会：生田美苗、石田貴美子、田中雄大、細見友希、前原翔太郎、三崎修子、西口久代

広告

iMEP
NIPRO Institute for MEDical Practice

研修を通して、
医療に貢献。

研修情報はこちら ▶

NIPRO 医療研修施設 iMEP